

第3回「SORAのきずな2016勉強会」開催報告

日時●2016年10月26日（水）18：30～20：30 場所●福島学院大学 駅前キャンパス 参加人数●45名



10月26日（水）に、後援各社皆様、ご協力いただいたすべての皆様のご支援とご協力のおかげをもちまして、第3回「SORAのきずな2016勉強会」を福島学院大学駅前キャンパスにて無事に開催終了させていただきました。

今回はペットビジネスや生体の流通に関して、動物に関する様々な取材を続け、多くの動物とその動物を取り巻く人々に接してきた朝日新聞の太田匡彦氏にご講演いただきました。「犬を殺すのは誰か ペット流通の闇」の著者としても知られる太田記者より、東日本大震災当時の福島での取材の経験談や、知っているようであまり知る機会のない、生体販売の流通、ペットビジネスにおいて改善すべき動物愛護法の内容や、業界事情をお話していただきました。

ニュースでも取り上げられることが多い「引き取り屋」についてのお話では、粗悪な飼養環境のスライドなどもありました。売れなくなったペットショップの犬の処分時期・方法についての話など、一見華やかなペットビジネスでも裏では動物をモノとしかみていないような悲惨な状況について会場の参加者は真剣に講演を聞いていました。

一人でも多くの方がこういった生体販売や流通についての様々な情報を持ち、正しい方法で販売が行われているのか、改善すべき点はあるのかなど、冷静に判断し行政等に意見を寄せることができれば、ペット業界も業者側ではないもっと犬猫たちの生活と命に寄り添った動物愛護法の改正につなが



り、さらには「動物と人の共生」に向かう福島の一助につながるのではないかと思います。

「ふくしま地域猫活動」では、兵庫県動物愛護推進員の西風直美氏をお迎えし、地域猫活動についてわかりやすく説明していただきました。今回、SORAでも地域猫の知識向上につながるチラシを作成しましたので、今後地域猫活動について行政と連携できるよう活用していきたいと思ひます。

当日のアンケートにつきましては、次ページ以降にまとめましたので、ご確認のほどよろしくお願ひいたします。

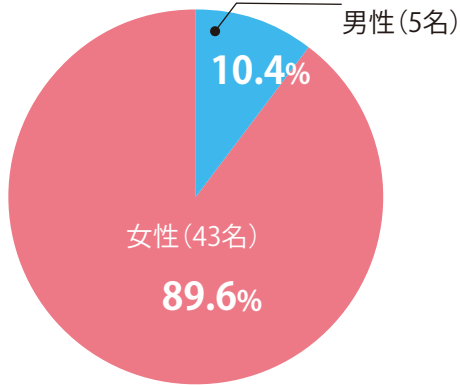
次回第4回勉強会は11月30日（水）開催となります。今後とも変わらぬご支援をいただけますよう心よりお願ひ申し上げます。

特定非営利活動法人 SORA アニマルシェルター
 代表理事 二階堂 利枝
 〒960-2261 福島市町庭坂字富山 147-1
 E-mail : soranokizuna2016@gmail.com
 URL : http://soranokizuna.com

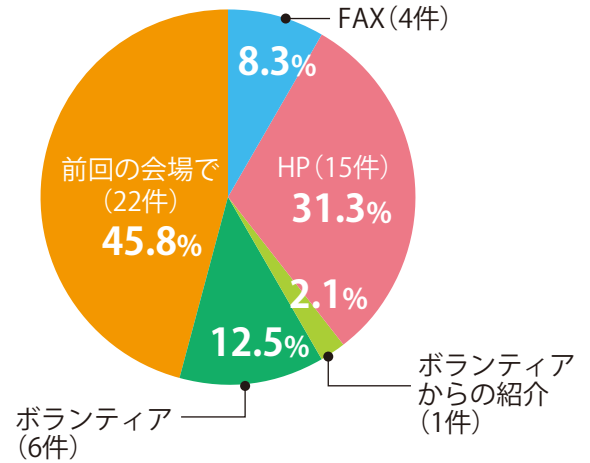
応募状況について

応募総数 48名

男女構成



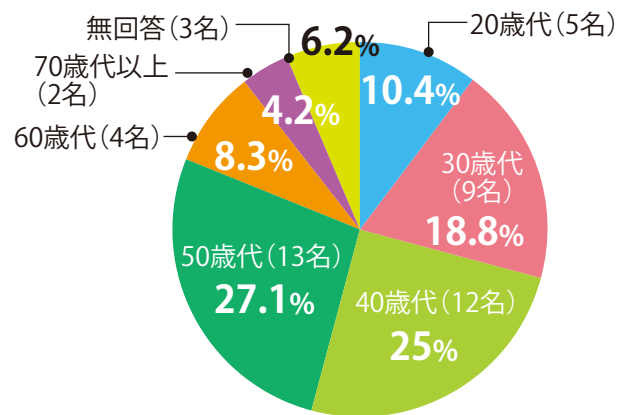
応募方法



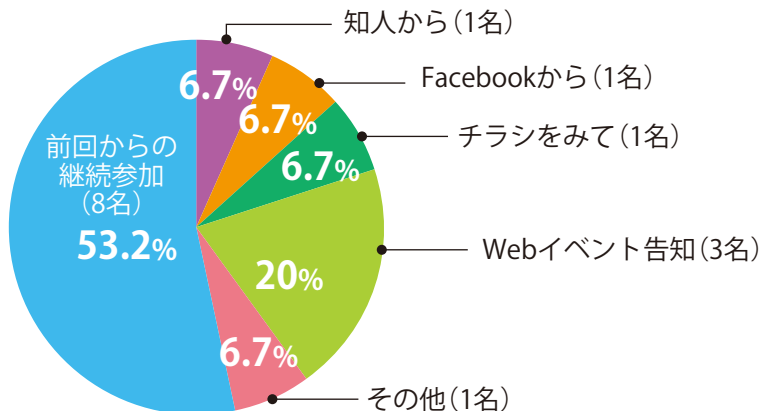
居住地



年代



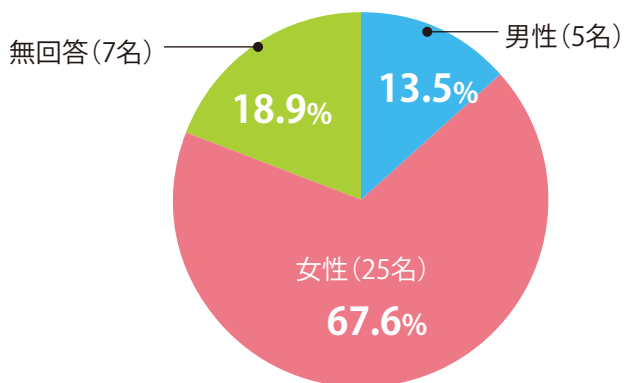
HPから申し込みのうち、何で知って応募しましたか



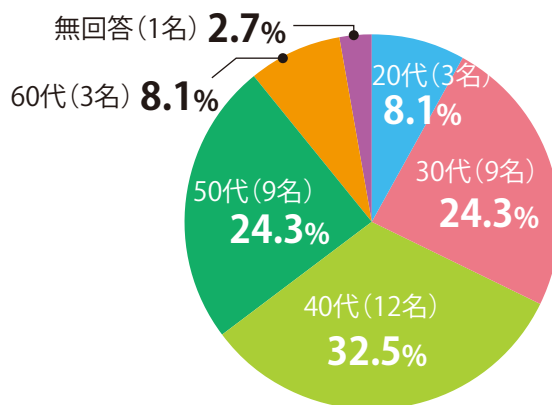
当日アンケートから

参加者合計 45名 (内 有効回答数37)

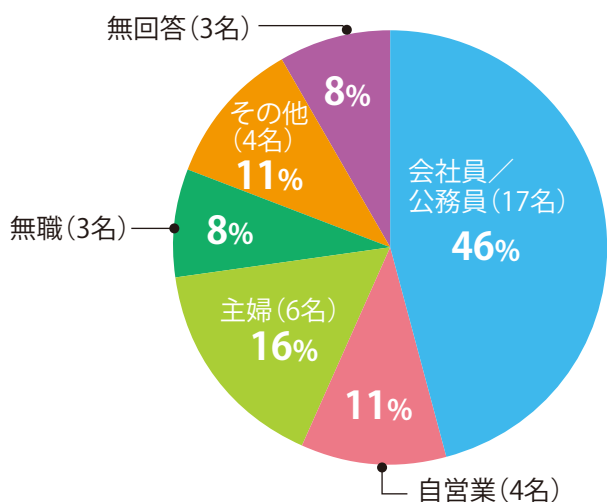
男女構成



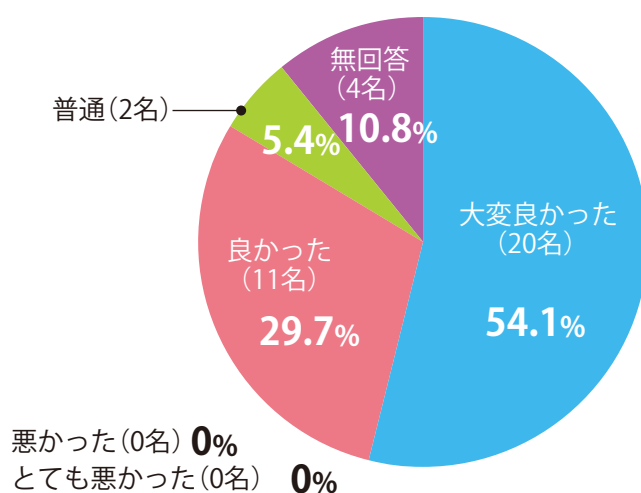
年齢



職業

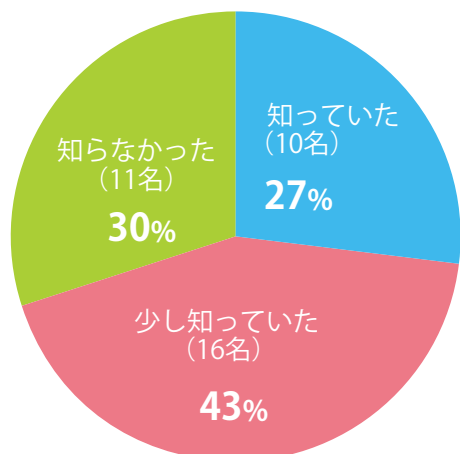


この勉強会に対する評価を教えてください

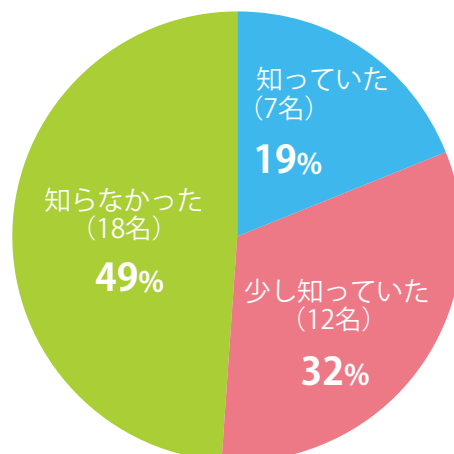


第1部「ふくしま版・動物を殺すのは誰か」

犬猫の流通段階での死亡についてのニュースは知っていましたか

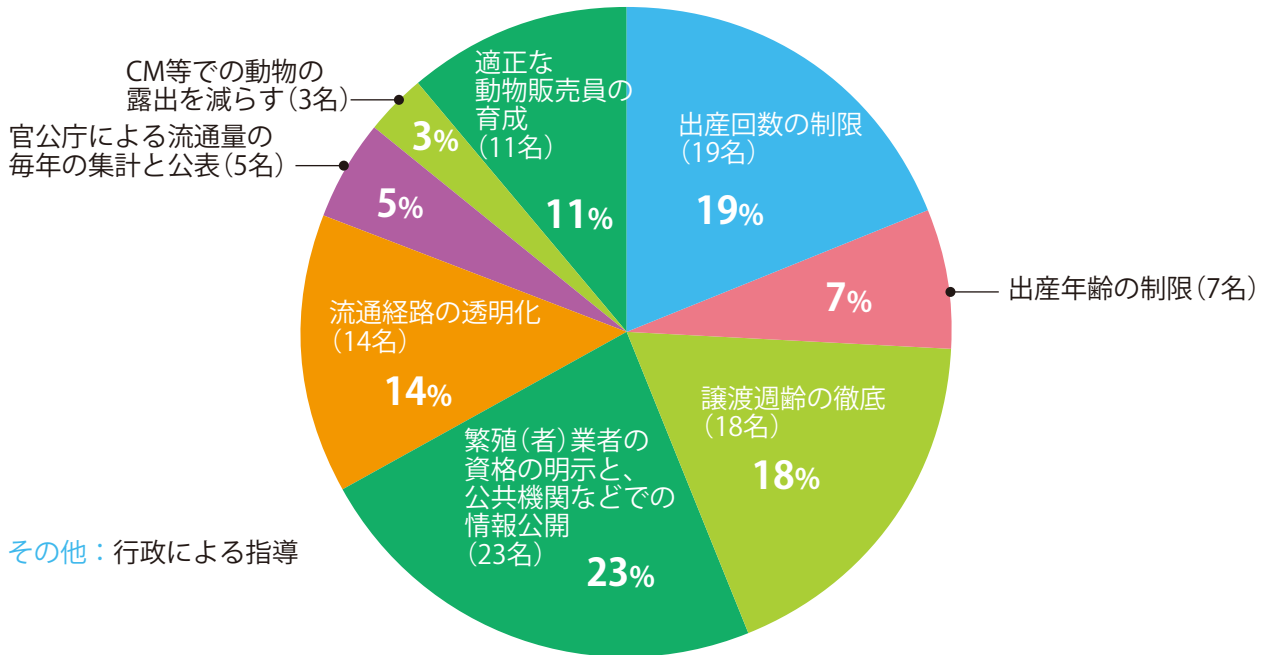


動物福祉という言葉を知っていましたか



当日アンケートから

ペットショップ問題をなくすためには何が必要だと思いますか（3つまで選択可）



● 他、太田匡彦氏の講演を聞いて何かあれば記載をお願いします

- 本当に動物のためと思っている人が発言する力を持たない。とても残念です。
- 事例の話が多く太田さんの気持ち（意見）をもう少し聞きたかった。
- 今まで聞いたこともない話が聞けてとてもよかったです
- もっといろいろお話を伺いたいと思いました。前回の法律の話と照らし合わせてもっと勉強したいと思いました。
- 太田記者の本は知っていましたが、Amazon等の口コミを読むと多分つらくて最後まで読む自信がなくて。太田記者がおっしゃっていた通りですね。今日は今までできていたペット業界の現状を知ることができて大変良かったです。何年か前に動物保護法改正の時期にこうしたほうがいいとの声を上げるためネット署名をした記憶があります。個人レベルでもできることはたくさんあると思うので、今後も殺処分ゼロを目指して努力していこうと思います。
- 大変良かったです。
- 頭の回転が速いのが分かる、理知的なトークで有意義な講義だった。今まで知らなかったペット産業の闇の部分を知り、心が痛んだ。動物福祉の向上に向けて全国各地の講演や取材など、太田さんにはがんばっていただきたいです。
- 目を背けたくなるような現状で起きている問題について更に心を傷めることになるだろうけれど、ちゃんと向き合って考えていく、考えていかなきゃという強い気持ちになった。
- ペットの流通に関してテレビで見て少し知っていたが、命がこのような形で扱われることにとっても疑問をもちます。太田さんの著書を読んでみようと思います。
- 若い方がペットショップで購入することが多いと聞いたので、学生のうちからペット業界の現状を知って欲しいと思いました。
- もっと太田様がやっている活動を知り、自分にもできることを見つけ悲しい命をなくす活動をしていきたいです。
- このような現状をもっと多くの方々に知っていただける機会があれば良いのと思う。私も初めての犬はペットショップから迎え、次はブリーダー、次は里子と犬を飼うことによって興味をもち、現状を知りたいと思うようになりました。初めて飼う方がペットショップにまず行くのではなく、他の手段もあることを多くの人に知ってもらいたい。
- もっとじっくり聞きたいと思いました。
- 「動物は物」という考え方は他国でもあるのか、それとも日本独自の考え方なのでしょうか。
- 今まであまり知らなかったペットに関するお話でした。正に「癒し」であるペットの暗い部分はさけてしまいたい所でしたが、今日お話を聞いたことはとてもありがたく思います。
- ペット産業って言葉を知りませんでした。売れ残った犬猫を破棄するなんて信じられませんでした。生命ということの自覚がないのかと思います。品物ではないんです。商売にするという事が（ブリーダーさん）許せません。太田さんのお話とても良かったです。
- とても難しい話でしたが、動物相手の仕事をしている人は動物を愛していない人が多すぎる現実を知りました。一人でも多く愛してくれる人が増えることを願います。ありがとうございました。
- ペット問題に取り組んでいる議員（国会、地方など）の活動も知りたいです。

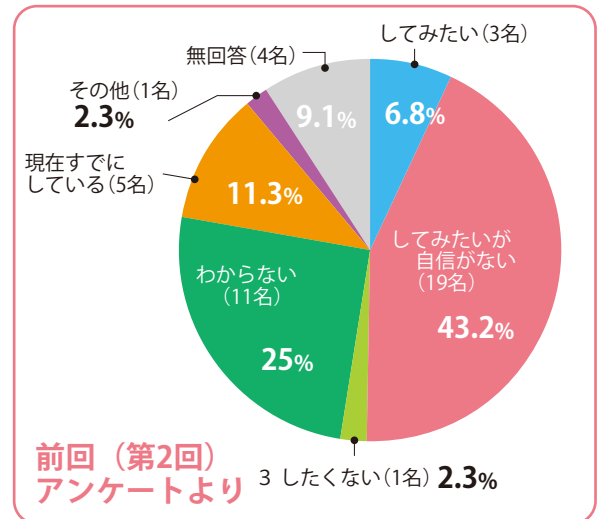
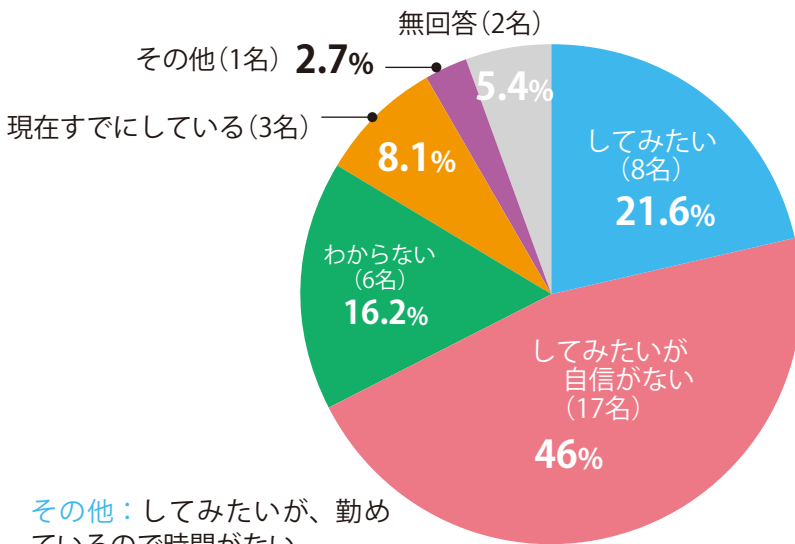
当日アンケートから

- 日本のペット業界は何故海外のようなことができないのか。犬猫も生体としてではなく物としてしかみていないということを講演を聞いて感じました。
- 犬を実験動物として行政から医大等への引き渡しも、殺処分以外に殺されることになるかと思いますが（福島市へはALIVEによる署名活動で止めました）
- 東日本大震災で繋がれたまま餓死していた犬の写真が衝撃的だった。みんな一緒に避難できていたら、と思うと悔しい。



第2部 ふくしま地域猫活動

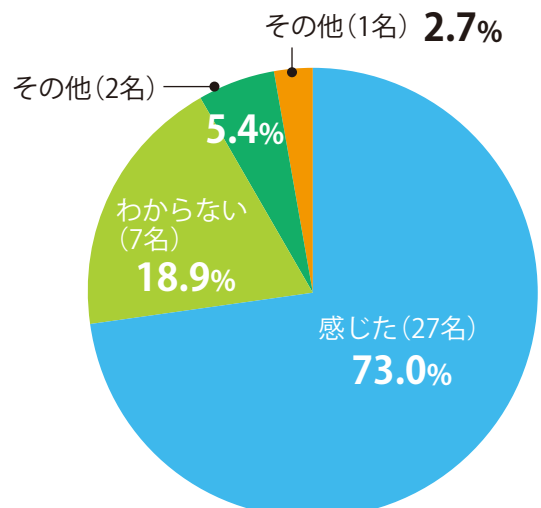
●「地域猫活動」をしてみたいですか？



●「地域猫活動」が必要だと思う具体的な地域があればその場所と状況を教えてください

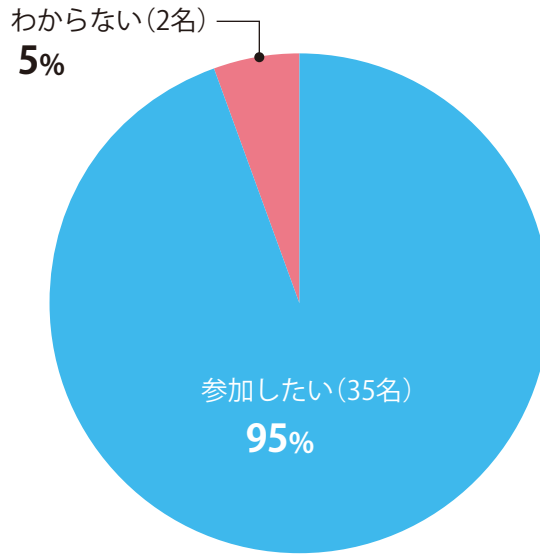
- 福島市永井川
- 市外地
- 二本松市外
- 福島市森合団地
- 福島市中心地帯
- 福島市内内市住宅

●この「SORAのきずな」の活動が福島の復興につながると感じましたか



当日アンケートから

● 今後も継続して「SORAのきずな勉強会」に参加したいと思いますか



● その他、お気づきの点があれば記載をお願いします

- お話にあった環境省のガイドライン、ネット等で見てみたいと思います。できたら印刷物としても欲しいなと思いました。
- 日本は先進国なのに動物福祉が非常に遅れていて情けない。もどかしい。
- 自分たちの利益しか頭になく、犬猫をモノのように扱っている悪質業者の取り締まり強化を求む。
- 動物愛護団体がドイツのように引き取りの条件をつけずに身寄りのない犬猫を引き取ってくれば引き取り屋は衰退するのではないか。
- 合意のもとについて、なるほど～と思った。まわりに知ってもらうことの大切さを学んだ。
- 西風さんが面白い。身近で関西弁が聞ける良い機会でした。コピーして使用できるチラシいいと思います。行動あるのみですね。周知徹底、これは難しいかもしれないけれど。猫好きは基本他人と関わるのが苦手な人が多いような気がします。
- 地域の避難訓練などペットも参加型の訓練ができるようになると良いと思う。猫の耳先カットされているのは不妊済みの印というのが初めてわかった。猫は耳先をカットされても問題ないのでしょうか？1匹でも幸せな犬猫が増えるようできる事からやってみたいと思いました。
- 地域猫について知れたのは大きな収穫でした。近所でも野良猫がどんどん増えていくのでなんとかする一助ができればと思います。
- 純血種を守る活動も必要だと思います。上手に共存していけたらと思います。
- 今回も貴重な話ありがとうございました。次回も楽しみにしています。
- 野良猫なのか飼い猫なのかわからないとき、勝手に不妊去勢をしているのか悩みます。

- 私は自分で猫と暮らすまで、外猫の現状を全く知りませんでした。猫と暮らし魅了され、色々な方や団体のブログを拝見し外猫の厳しさを教えられました。人も動物も命のレベルはないと思っています。大昔のように共生ができることを願います。ペットではなく家族という意識が広がると変わっていくと思います。
- もっとJKCは追求しないんですか？関わっている獣医師とかは追求しないんですか？

